

1972・8・15

広報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876) 代 2100番
 印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 (一部五円)
 郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

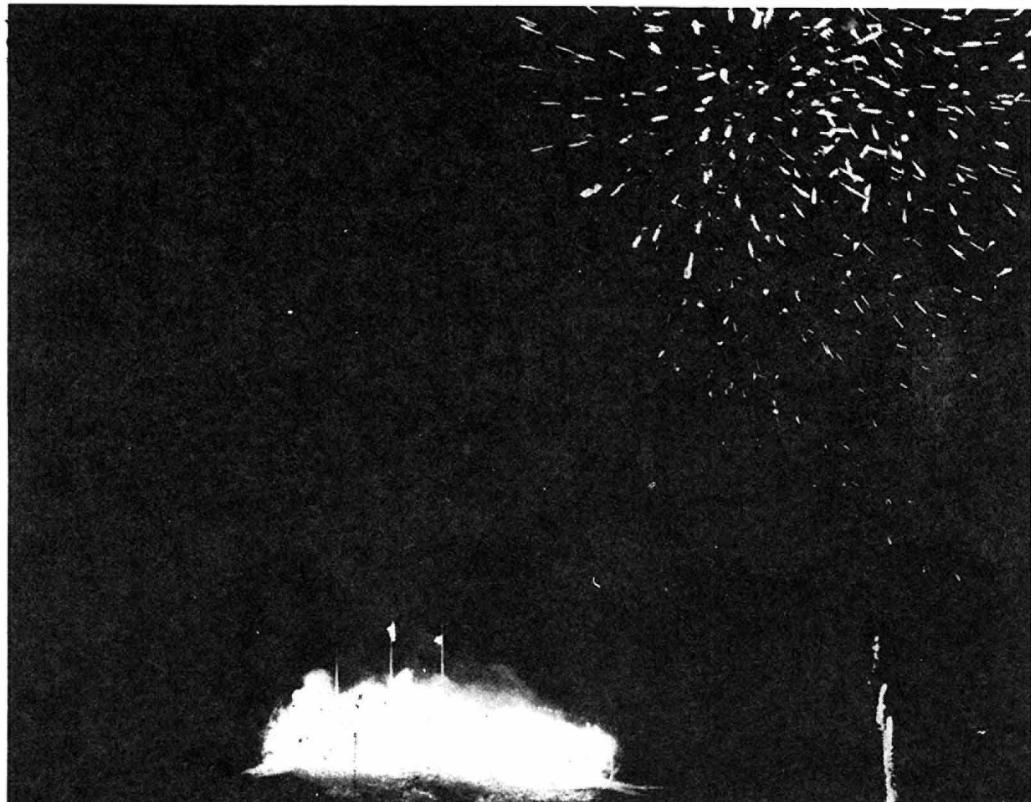
人口と世帯

世帯数	3,912	世帯
人口	17,976	人
内訳	男 8,683	人
	女 9,294	人

住民登録調 (47年7月末現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

天と地でその美しさを競う花火



☆…8月3日、五小グランドで第2回子どもの祭典がおこなわれた。 ……☆

☆…当日は1,500名の児童生徒が参加し、友だちの体操、マスゲームの演技に…☆

☆…又五一中、警察音楽隊によるプラスバンドの熱演に惜しみない拍手を送った。…☆

☆…夕日が山なみに身を沈める頃は、友達同志あるいは家族と共に楽しい夕食である。…☆

☆…やがて墨(すみ)のような闇(やみ)がグランドを包んだ。真赤な炎が、黒い空間を一筋にひた走る。…☆

☆…聖火だ。汚れのない鮮麗な火の美しさに観衆のどよめきが起きた。、そして九人のファイヤーキー…☆

☆…バーが、友情を誓い、健康を誓う。点火された火床と1,500本のトーチは、祭典の夜を赤く染めた。…☆

☆…地をゆるがすごう音とともに、瞬間の美しさを競う花火は色とりどり天と地に咲いては散つた。…☆

☆…しかし子どもたちのすこやかな成長を願う大人たちの心のプレゼントは永久に消えないことだろう。…☆

夏の夜を

赤く染める



五

五城目鋸業協同組合

理事長 大庭千代海

(和)



余談なくされました。
 其の時町当局 五城目営林署の組合員(五)の組合のモットーでは、全國に其の名を知らしめるまでになりました。
 それも歴代の理事長を初め、組合員一同が常に組合のモットーである(和)をもって頭に下る思いです。だがいつも良い事ばかりではありません。
 営林署にも機械化が余儀無くされましたが、不幸中の幸とでも言いましょうか、白ろう病とやらで又唐鍊、鍼類の売上げも伸びて参り、今では毎年研究会や講習会を開いて居ます。今後共皆々様のご指導ご協力を賜ります。

1972・8・15

広報ごじょうめ 第210号

ごみ収集日

9月のごみ収集日はつぎのとおりです。

町名	9月			
	1回	2回	3回	4回
希望ヶ丘	5	12	21	
田町	5	12	21	
広ヶ野	5	12	21	
今町	5	12	21	
御藏町	5	12	21	
長町	6	13	25	
仲町	6	13	25	
米沢町	6	13	25	
築地町	7	15	22	
烟町	7	15	22	
新煙町	1	8	27	
矢場崎	1	8	27	
昭辰町	1	8	27	
雀館	2	10	19	30
古川町	2	10	19	30
紀久栄町	4	9	20	
川原町	4	9	20	
新町	4	9	20	
小池町	4	9	20	
一一番町	4	9	20	
中川原町	4	9	20	
岩城町	4	9	20	
内川	13	28		
富津内	13	28		
馬場目	13	28		
馬川	14	29		
面渕	14	29		
大川	14	29		

9月20日以降にゴミ焼却炉を修理する予定です。
収集日程に変更等ありますのでご協力ください。

9月 残飯収集予定

希望ヶ丘、田町、今町、御藏町、町、一一番町、岩城町、広ヶ野	1・5・8・12 16・20・25・28
長築町、仲町、米沢町	2・6・9・13 18・21・26・29
新煙町、矢場崎、昭辰町、紀久栄町	4・7・11・14 19・22・27・30

今にも買いたい。朝、店の前に品物を出して、あれこれもこれまたいろいろな種類を要求するが、全然買わないで手に通つてしまつたのかしら……強く責任を感じる。朝、店の前に品物を出して、毎日このくり返し。人間

もこれまたいろいろな種類を要求するが、全然買わないで手に通つてしまつたのかしら……。お姿に対して「またどうぞおい出ください」と素直に言えなくなりてしまう。自分の気持が相手に通じなかつたのかしら……。朝、店の前に品物を出して、毎日このくり返し。人間

求めにぎり返す。人間

暮ーの案内

▼ 五城 目盆踊大会 ▲

の実践に努めましょう。
環境美化のご相談、ご意見、ご要望は役場(二二〇〇番)保健衛生課へ

のものが入っておりましたので、充分注意してください。



アルバイトから得たもの

朝夕の放し飼いは

「こめんです

犬を朝夕、放し飼いをする方が最近多く見られます。が、気をつけ

てください。
また犬の朝夕、の散歩について

ですがこの頃直きみやげが多く困っています。

本町ではおおかた、川へ流す習慣

えかく、川へ流して土へ返えすか二つの供養のしかたがありますが

川をよこして、供養といながらから、とえれば店員でも〇で

ら清淨供養箱を橋の両側に配置しています。

今年配達されるのは広ヶ野橋、昭辰橋、馬城橋(役場入口)五城

橋(一番町、中川原)田町橋、築地橋、五城橋(法務局)細越橋(營林署入り口)です。

議員や会議出席で、お出での方の方達の便宜を計

ての電話を設置いたしました。二九一八番です。

期得に胸をふくらませて入学校に入学してからもう二年と数か月の月日ががれていった。あと半年も過ぎればもう卒業。いったい今まで何を考えていたのだろうかと思う……。
やがて社会人として果立つて働く私。最後の休みではあつたけれども、働くことのきびしさであることは楽しき、そういったものをいくらでもわかつておきたいと思ってアルバイトをすることになった。仕事は店員である。自分達が買いたい仕事をする時は、あまり大変な仕事だとは意識をしなかったが、いざその立ち場になつみると、なかなか根気のいる仕事なのにおどろいた。

今にも買いたい。朝、店の前に品物を出して、あれこれもこれまたいろいろな種類を要求するが、全然買わないで手に通つてしまつたのかしら……。お姿に対して「またどうぞおい出ください」と素直に言えなくなりてしまう。自分の気持が相手に通じなかつたのかしら……。朝、店の前に品物を出して、毎日このくり返し。人間

求めにぎり返す。人間

生活のはとんどが、同じことを繰り返しながら生きている。が、その中において、一生のうちに何か人のためにしたいものだと思います。

あまり大きさに考えて、手も足も出ない目標では仕様ない

から、たとえ店員でも〇で

もよい。自分の仕事を通じて人のため役立つたらと思って感じたこのアルバイトを通じて感じたことは、人と接している時、何

時でもほほえんでいることが、いかにむずかしいかを知った。

職場を明るくするために手につけたが、この職場で、お出での方の方達の便宜を計ることで、公衆電話を設置いたしました。

馬場町中村 馬場町中村

佐藤京子

「ありがとうございました」「相済みません」「恐れ入ります」「お待たせしました」

このような言葉がいかに職場のためになり、他人の気持を明るくすることもこのバイトを通じて、ことはの重さも知つた。高校活最後の夏休みとなつたが、よい体験をしたと思つていいが、卒業したら、仕事に生きがいを